

# 市議会だより



昨年 11 月 21 日に市議会広報広聴委員会主催の市民との意見交換会を開催いたしました。詳細につきましては本誌の 10 ページに記載いたしました。ご来場いただきました皆様、誠にありがとうございました。



市議会議場にて清園中学校 3 年生が「岩見沢の未来のために」をテーマとして社会科の授業を行いました。詳細は本誌 9 ページに記載しております。

## 今号の主な内容

- 審議結果 ..... 2
- 一般質問 ..... 4
- 清園中学校 社会科授業 ..... 9
- 市民との意見交換会 ..... 10

## 平成30年第2回臨時会（10月31日） 審議結果

議案番号	件名	審議結果
議案第65号	平成29年度岩見沢市一般会計及び各特別会計決算の認定について	認 定
議案第66号	平成29年度岩見沢市病院事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定
議案第67号	平成29年度岩見沢市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	〃
議案第68号	平成29年度岩見沢市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	〃
議案第69号	平成30年度岩見沢市一般会計補正予算について(第3号)	原案可決
議案第70号	平成30年度岩見沢市特別会計企業用地造成費補正予算について(第1号)	〃

## 平成30年第4回定例会（12月3日▶12月14日） 審議結果

議案番号	件名	審議結果
議案第71号	一般職員の給与に関する条例等の一部改正について	原案可決
議案第72号	岩見沢市地区集会所条例の一部改正について	〃
議案第73号	岩見沢市立学校設置条例の一部改正について	〃
議案第74号	岩見沢市コミュニティプラザ及び岩見沢市自治体ネットワークセンターの指定管理者の指定について	〃
議案第75号	岩見沢市テレワークセンターの指定管理者の指定について	〃
議案第76号	岩見沢市新産業支援センターの指定管理者の指定について	〃
議案第77号	高齢者福祉センターふれあいの指定管理者の指定について	〃
議案第78号	浄安殿の指定管理者の指定について	〃
議案第79号	岩見沢市緑が丘霊園及び利根別墓地等の指定管理者の指定について	〃
議案第80号	岩見沢市精米施設の指定管理者の指定について	〃
議案第81号	岩見沢市イベントホール、駅東市民広場公園及びコミュニティ東駐車場の指定管理者の指定について	〃
議案第82号	岩見沢市自転車等駐車場、コミュニティ西駐車場及び岩見沢市有明交流プラザの指定管理者の指定について	〃
議案第83号	北村中央公園及び桜つつみ公園の指定管理者の指定について	〃
議案第84号	あやめ公園、利根別自然公園及び利根別原生林ウォーキングセンターの指定管理者の指定について	〃
議案第85号	東山公園、鳩が丘記念緑地、北海幹線用水路鳩が丘緑地、北海幹線用水路並木町三角緑地、北海幹線用水路駒園緑地及び玉泉館跡地公園の指定管理者の指定について	〃
議案第86号	幾春別川リバーパークパークゴルフ場及びひょうたん沼交流広場公園の指定管理者の指定について	〃
議案第87号	いわみざわ公園バラ園の指定管理者の指定について	〃
議案第88号	いわみざわ公園の指定管理者の指定について	〃

## 審議結果

議案番号	件名	審議結果
議案第 89 号	北村デイ・サービスセンター、北村生活支援ハウス及び高齢者福祉センターえみるの指定管理者の指定について	原案可決
議案第 90 号	上幌地区集会所の指定管理者の指定について	〃
議案第 91 号	茂世丑地区集会所の指定管理者の指定について	〃
議案第 92 号	万字地区集会所の指定管理者の指定について	〃
議案第 93 号	宮村地区集会所の指定管理者の指定について	〃
議案第 94 号	弥生ヶ丘地区集会所の指定管理者の指定について	〃
議案第 95 号	最上北栄地区集会所の指定管理者の指定について	〃
議案第 96 号	西地区集会所の指定管理者の指定について	〃
議案第 97 号	由良地区集会所の指定管理者の指定について	〃
議案第 98 号	必成地区集会所の指定管理者の指定について	〃
議案第 99 号	岐阜地区集会所の指定管理者の指定について	〃
議案第 100 号	栗丘地区集会所の指定管理者の指定について	〃
議案第 101 号	栗沢デイ・サービスセンター及び美流渡デイ・サービスセンターの指定管理者の指定について	〃
議案第 102 号	岩見沢市万字診療所の指定管理者の指定について	〃
議案第 103 号	岩見沢市美流渡歯科診療所の指定管理者の指定について	〃
議案第 104 号	岩見沢市栗沢福祉センターの指定管理者の指定について	〃
議案第 105 号	岩見沢スポーツセンター及び岩見沢トレーニングセンターの指定管理者の指定について	〃
議案第 106 号	岩見沢市温水プール及び岩見沢市北村プールの指定管理者の指定について	〃
議案第 107 号	平成 30 年度岩見沢市一般会計補正予算について(第 4 号)	〃
議案第 108 号	平成 30 年度岩見沢市下水道事業会計補正予算について(第 1 号)	〃
諮問第 2 号	人権擁護委員の候補者の推薦について【藤田 政利氏】	同意
諮問第 3 号	人権擁護委員の候補者の推薦について【干場 幸宏氏】	〃
意見書案第 14 号	道教委「これからの高校づくりに関する指針」を抜本的に見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育について	原案可決
意見書案第 15 号	日米物品貿易協定交渉について	〃
意見書案第 16 号	認知症施策の推進について	〃
意見書案第 17 号	無戸籍問題の解消について	〃
意見書案第 18 号	義援金差押禁止法の恒久化について	〃
意見書案第 19 号	被災者生活再建支援制度の拡充について	〃

※可決した意見書案・決議案の全文は、市議会ホームページでご覧になれます。

第 4 回定例会までに提出された次の陳情・要望書は全議員に写しが配布されました。

- 平成 31 年度理科教育設備整備費等補助金予算増額計上について
- 現在の日本に最も重要なことについて
- 難病医療費助成制度における臨床調査個人票（診断書）の公費助成創設と国への意見書提出について
- 学校教材の計画的な整備推進について
- 日米物品貿易協定交渉に関する意見書の提出について

### 本会議のインターネット中継について

本会議の様態をインターネット動画サイト YouTube にて生中継・録画中継しております。

下記 URL もしくは QR コードよりご覧ください。

URL [https://www.youtube.com/channel/UCjjSzdyAOXBFq\\_yRLRIS7gg](https://www.youtube.com/channel/UCjjSzdyAOXBFq_yRLRIS7gg)



## 学校選択制度について

**Q** 学校選択制度の現状について

**A** 〈教育長〉今年度制度を利用した生徒は75名で、最も多い理由は「希望する部活動が行われている」が43名、続いて「友人がその学校に入学する」が11名などとなっている。

学校選択の際の窓口として、毎年6月の合同説明会において各学校の教員や生徒から個別に話を聞くことができるほか、学校長が児童・保護者と個別面談を実施し、改めて意思確認をしている。なお、学校選択の理由の中にいじめを理由とするものはない。

**Q** 学校間格差の是正について

**A** 〈教育長〉これまでのところ選択制度が影響して適正規模を維持できなくなる状況はないが、今後生徒の減少に伴い、学級数の減少や学校規模の縮小が懸念される状況になってきていると認識して



市民クラブ  
太田 博之

いる。

また、入学者が減少している学校への取り組みについては、制度利用の理由が部活動であることが半数以上を占めるため、学力の向上などの部活動以外の魅力ある学校づくりを支援している。

**Q** 学校のあり方と選択制度の方向性について

**A** 〈教育長〉通学区域審議会でも、学校は「地域社会の核」としても重要な役割を担っていることから、コミュニティスクールの推進や小中一貫教育の導入を検討すべきとされている。学校選択制度はそれとの整合性も考慮すべきことから、制度の継続や見直しについて検討が必要であると考えている。

【その他の質問】

・災害時における対応と今後の取り組みについて  
・公共施設のあり方と市財政の推移について

## 災害時の対応について

**Q** 市民への情報周知の課題と対策について

**A** 〈市長〉9月の地震による停電で情報伝達ツールのほとんどが使用できなくなり、市民への情報伝達に支障が出た。また、停電直後から放送を開始したコミュニティエフエムはまなすも、提供される情報や放送内容、放送時間に課題があったと認識している。また、広報車による周知を図ったが、その情報伝達にも課題があった。既にSNSについては停電時でも更新できるような対応を行っているが、市の公式ホームページ、メールサー

ビスなども停電時でも更新や配信ができるよう対応に努める。

**Q** 災害時の避難所について

―倒壊するおそれのある避難所

**A** 〈市長〉市内50カ所の避難所のうち、建築基準法改正以前に建築された施設は4カ所あるが、今回の震度5弱の地震においての被害



市民クラブ  
豊岡 義博

はなかった。しかしながら、この4施設のうち、一つは来年3月末に廃止、もう一つは来年12月に耐震基準のある施設に移転する予定であり、残りの2施設についても避難所の指定、区域について地元とも協議を行い対応する。

―浸水した経緯のある避難所

現在の指定避難所で過去の水害により浸水した経緯のある施設は市内5カ所で、降雨の状況により避難所の移動や見直しも含めて適切に対応することも必要と考えている。

―停電となった場合の設備

停電対応への設備については、施設改修に合わせて整備を進めているところであり、地域バランスを見ながら非常用自家発電設備の計画的な整備や、ポータブル発電機の配備について検討を進めている。

【その他の質問】

・労働力不足問題について

ひとり暮らし高齢者や夫婦のみ  
の高齢世帯の生活支援について、  
特に住まいについて



公明党  
酒井和子

**Q** 高齢化社会に視点を置いた  
公営住宅のあり方について

**A** 市内的公営賃貸住宅の構成

〈市長〉市内公営賃貸住宅の管理戸数は平成30年11月末現在42団地2551戸で、事業主体別では北海道が8団地569戸、岩見沢市が34団地1,982戸であり、構成比は10年前の2対8と変わりはしない。なお、市が管理している公営住宅の内訳は、市営住宅32団地1,816戸、改良住宅96戸、単費住宅2団地70戸となっている。

―用途廃止、建てかえについて

平成20年度に策定した「岩見沢市公営住宅等長寿命化計画」に基づき進めてきたが、平成30年度に終了することから、改めて今後10年間を期間とする新たな長寿命化計画の策定を現在進めている。

―入居率について

平成30年11月末現在、市営住宅の入居率については市が管理している1,982戸のうち約83%の1,642世帯が入居している。そのうち、ひとり暮らしの

高齢者世帯は33・3%の547世帯、夫婦のみの高齢者世帯は10・8%の178世帯、合計725世帯で、高齢者世帯の占める割合は約44%となっている。

―今後の方針について

これからも高齢者世帯の入居が見込まれることから、安全・安心で良好な住環境確保のため、既存団地で1階のバリアフリー化の整備などを、現在進めている長寿命化計画において検討している。



【その他の質問】

・観光客等への防災対策について

市長任期後半に向けて



政和会  
石黒武美

**Q** 公約達成進捗状況について

**A** 〈市長〉今期新たに公約として示した「新・元氣八策」の

実現に向け取り組んできたところである。その中でも「健康経営都市宣言」に基づく健康経営の推進、北海道大学などと連携したCOI事業やスマート農業の推進、えみふるを拠点とした子供の成長や子育てを支える取り組みなどは岩見沢の新たなまちづくりを特徴づけるものとして全国的にも高い評価を得ている。

また、市政の最重要課題である人口減少の克服と地域経済の活性化に向けても、平成28年1月に策定した「岩見沢市総合戦略」に基づく事業を着実に積み上げてきたところである。さらにハード面においても消防庁舎や学校給食共同調理所、新庁舎などの建設、また、都市計画マスタープランにおける「地域間連携ルート」に位置づけられている東17丁目通り等の整備を進めるとともに、総合的

な雪対策の拡充等に努めてきた。こうした取り組みを踏まえ、2期目で示した公約については、その大部分において実現あるいは着手することができ、目に見える成果もあらわれつつあるものと実感している。

**Q** 任期後半に向けての市長の所感について

**A** 〈市長〉当市が目指すべき姿として掲げた「人と緑とまちなが」が、ともに育み未来をつくる健康経営都市」という将来の都市像に向け、社会情勢の変化などによる新たな課題にも柔軟に対応しながら、私みずからが先頭に立ち、職員一丸となって、オール岩見沢で魅力ある「まちづくり」を進めていきたいと考えている。

【その他の質問】

・北海道胆振東部地震を経験しての今後の対応策について  
・人口減少対策について  
・司書教諭配置について

## 地震対策について



公明党  
斎 須 正 友

**Q** 地震後の課題について

把握できている単位町会で設置を行っている町会は4町会で台数は4台、計22台となっている。

**A** 情報発信について

〈市長〉地震の影響による停電により、誤った情報がSNSにより拡散されるといった事態もあつた。より多くの手段を活用した情報提供を行えるよう対応していくほか、市のメールサービスについては多くの方に受信していただけるよう、登録者の拡大に努めていく。

また、自助としてラジオの電池やスマートフォンなどのモバイルバッテリーの確保について周知を図っていきたくと考えている。このほか、コミュニティFM放送の活用として、災害対策本部と連携した正確な情報の提供について、具体的な検討に入っているところである。

—町会等の発電機について

町会等における発電機の所有状況は、旧まちづくり交付金制度を用いて発電機を設置したのは7地区協で台数は18台。市が調査を行い、現在

—企業の事業継続計画について

事業継続計画の策定は、災害からの復旧に要する時間を短縮するなど、策定する企業にもメリットがあり、内閣府がガイドラインを示している。当市の事業所においては、2年前から企業向けに実施しているセミナーにおいて、啓発や情報提供を行っているほか、市内の事業所206社を対象に2年に1度実施している岩見沢市労働実態調査において、2018年の調査から事業継続計画を尋ねる項目を設け現在調査中である。

今後とも商工会議所と連携しながら、事業継続計画の啓発とともに、策定の際の助言や情報提供に取り組んでいく。

【その他の質問】

・農業の振興について

## 人口減少対策について



市民クラブ  
伊 澤 幸 信

**Q** 子育て支援における各種施策の実績について

〈市長〉子育て支援については、特徴的な取り組みについては、まず保育料の軽減については、減額細分化を行うとともに、第2子無料化に取り組んだ結果、平成26年度では52・7%であった多子世帯の割合が本年4月現在では53・8%と徐々にではあるが効果があらわれてきている。

また、栗沢地域に公立の認定子ども園を新たに開設し、地域の保育と幼児教育を守るとともに地域の特色を生かした質の高い幼児教育を提供している。

小学生については、放課後児童クラブにおいて午後7時までの延長保育の実施や今年度からは利用対象を小学校6年生まで拡大し、新たな活動場所や指導員を確保した。

さらに、えみふるでは平成29年度来場者数が8万4000人を超え、保健師など専門職によるソーシャル・ワー

カーの取り組みが高い評価を得ている。

**Q** 生産年齢人口の維持・増加へ向けた教育の重要性について

〈市長〉教育大綱に基づいた取り組みとして、授業の質的改善、教科化に向けた道徳教育の実践的な研修、切れ目のない教育相談体制の構築等を図り、それぞれ効果があらわれているところである。

移住定住施策や子供の健やかな成長と子育てを支える多様な施策による相乗効果もあり、転出超過で推移してきた当市の年少人口は、平成28年度以降は毎年50人以上の転入増加へと転じており、これと合わせて生産年齢人口の中心である親世代においても増加がみられている。

【その他の質問】

・高齢者の保健事業と介護予防について

# 東部丘陵地域の 振興について



政和会  
大和 勝

**Q** 地域おこし推進員のこれまででの取り組み・成果・評価について

**A** ー推進員の取り組みについて  
〈市長〉平成28年度に立ち上げた「みる・とーぶプロジェクト」において、市内外のイベント等への出展のほか、地域の人々やスポットをイラストで紹介した「みる・とーぶマップ」の内容の充実、移住希望者や来訪者に対する案内や紹介など、年々、活躍の幅を広げている。

また、地域の方々が中心となって、旧朝日駅舎の活用による新たなプロジェクトが進行しており、そこでも推進員の経験やネットワークが生かされていると聞いており、推進員に期待される役割は非常に大きいものと評価している。

### ー推進員の人材の確保について

平成30年3月末に1名が任期を終えた後も現在まで応募はなく、3名体制に欠員が生じている状況となっている。今後ますます人材の確保が

難しくなることも予想されることから、募集要件や対象者の見直しなどについても、改めて検討する必要性を感じている。

**Q** 今後の展開の方向性について

**A** 〈市長〉 現任の推進員に対しては、退任後も地域の一人として活躍し続けられるよう、起業や住居等についてできる限りのサポートを行っていきたいと考えている。  
東部丘陵地域全体の観点からは、依然として人口減少と高齢化が進む中で、メーブルロッジを初め地域資源を新たな人の流れに結びつけ、地域全体の活性化につなげていく必要があると考えている。

### 【その他の質問】

・より働きがいのある人事制度の構築について  
・義務教育、高等学校における生活設計に関する教育の推進について

# スマートインターチェンジ 構想について



政和会  
榎館 竜 哉

**Q** スマートインターチェンジ構想の進捗状況及び今後の展望について

**A** ー構想の実現性等について  
〈市長〉国土交通省により地域の活性化等に向けて全国的に導入が進められているスマートインターチェンジについて、本市においては2020年開通予定の東17丁目通りの供用開始により、国道12号からのアクセスの向上が図られることから、その設置について平成27年より議論を始めたものである。

ネクスコ東日本との打ち合わせでは、採算性を確保できることが設置の条件となっていた。この採算性の立証についてネクスコ東日本が慎重に審査している段階に入っているが、当市としてはこの課題をクリアできるのではないかと見込んでいるところである。

### ー想定される開設時期について

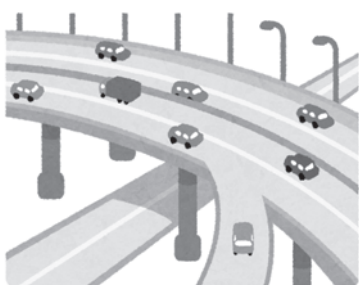
開設時期については、採算性以外にも多岐にわたる検証が不可欠なこ

とから、東17丁目通りの開通後に交通量調査等を行い、周辺の交通環境の変化を把握しながら次のステップへ進みたいと考えており、今後関係機関との協議、地区協議会の開催、国への申請手続やアクセス道路等の整備等を加えると相応の年数を要するものと想定している。

なお、スマートインターチェンジの実現に向けては、競馬場跡地を含むサービスイリア周辺の土地活用についても議論の対象になるものと考えているところである。

### 【その他の質問】

・岩見沢市におけるBCPの取り組みについて



# 学校給食について



日本共産党議員団  
山田 靖 廣

**Q** 学校給食の目標について

**A** 〈教育長〉 学校給食の目標達成への取り組みについて、具体的には栄養教諭が各学校へ赴き、学校給食を生きた食材として活用し、食の重要性や感謝の心、社会性や食文化などについて指導を行っており、児童生徒の声として調理員への感謝などのメッセージが寄せられていることから一定の成果があるものと認識している。

**Q** 調理業務委託について

**A** 〈教育長〉 安全対策について、米飯の異物混入の再発防止対策としては、各作業行程で調理員による目視確認等の徹底や、学校の長期休業中に業者による定期的な点検を実施して炊飯設備の安全性を確認している。

公募型プロポーザルについて、学校給食共同調理所における業務の委託については、平成29年11月に公

募型プロポーザル方式により優先交渉権者を選定した。応募の状況は調理業務に1事業所、炊飯業務に2事業所の応募があり、選定については審査基準に基づく八つの項目から総合的に高い評価を受けた事業所を選定している。

**Q** 学校給食費について

**A** 〈教育長〉 文部科学省の調査結果からも、学校給食費の無償化は小規模な自治体が多いという状況が明らかになったのではと考え、無償化や助成については市として実施する考えは持っていない。

また、子育て支援対策としての取り組みであれば国の責任において行うものと考えるが、全国での実施となれば多額の財政負担が想定されることから、国に対応を求めるとではないと考えている。

【その他の質問】

- ・児童虐待への対応について
- ・選挙権行使について

# 災害に強い

## まちづくりについて



日本共産党議員団  
上田 久 司

**Q** 今後に向けての改善について

**A** 〈市長〉 今回避難所に避難した方は、避難所10カ所で延べ404人となっている。今回の地震では避難所まで行けなかったという事態の報告は今までのところ受けていない。市が把握している避難行動要

処している。

―企業への働きかけについて  
ガソリンスタンドやスーパー等については民間企業として対応していくものと考え、市としては必要に応じ助言や情報提供をしていく。

―その他の改善について

今後は、現在策定作業中の国土強靱化地域計画において、さまざまナリスクの洗い出しや課題を整理し、地域防災計画との整合も図りながら、復旧・復興業務の実効性の確保に取り組んでいきたいと考えている。

―農業への対応について  
多くの農家に対して市が自家発電機を備えておくことは難しいと考える。また、補助制度については、国や北海道の補助制度で対応が可能なものについてはその制度を活用することを基本と考えている。

―市営住宅への対応について  
身体障がい者向けのこぶし団地に非常用自家発電機を1基設置し、エレベーターを利用できるように対

【その他の質問】

- ・福祉灯油の実施を
- ・間口除雪について
- ・水道事業の民営化について





### 今後の災害時に向けた災害ボランティアセンターなどの活動や取り組みについて

**Q** 岩見沢市社会福祉協議会との連携による災害ボランティアセンターの設置や市内外からのボランティアの受け入れ態勢について

―設置場所について

**A** 〈市長〉 岩見沢市社会福祉協議会では、災害ボランティア対策本部運営マニュアルを策定し、岩見沢市広域総合福祉センターを災害ボランティア本部の設置候補施設と定めているが、市としては災害の種類や規模、被災状況に応じた災害ボランティアの受け入れや設置場所について、改めて岩見沢市社会福祉協議会と具体的な協議をしていきたいと考えている。

―ボランティアの調整について

調整を行うコーディネーターについては、経験のある本部スタッフを北海道社会福祉協議会を通じて要請し、確保することとしている。コーディネーターの育成については胆振東部地震に派遣した職員等の経験を



無所属  
池島 和行

参考に、岩見沢市社会福祉協議会との連携を図っていきたい。

**Q** 岩見沢災害ボランティア・北海道地域防災マスター・防災士について

**A** 〈市長〉 防災士等の人材を有効的に活用するためには、情報共有の場が重要であり、防災資格者等によるネットワーク組織の設立について検討を進めているところである。

また、災害ボランティア事前登録者に対して防災に関する研修や講習会の案内等の情報提供を行うとともに本年度より防災資格取得費用の助成を行うなど、人材の育成・確保に努めている。

【その他の質問】  
子ども食堂について

ボランティア受付



昨年11月19日に市議会議場において、社会科の授業として清園中学校3年生が、「岩見沢の未来のために」をテーマとした提案を発表し、議員が助言を行いました。その一部について以下のとおり掲載いたします。

## 清園中学校 社会科授業

### 提案

岩見沢のよい所を中心に、果物狩りなどのできる観光ツアーを考えました。この実現のために宿泊施設等の充実をお願いします。

### 助言

現在、市は農業を体験メニューとするなどした、岩見沢市の特徴を生かせるような五つのツーリズムをつくっています。また、宿泊施設としてメープルロッジをリニューアルするなど、このまちにもっと多くの人が来ていただけるよう、そのきっかけづくりをしているところですよ。

### 提案

岩見沢の野菜を市外の方にも知ってもらいために、それらを提供するお店をつくってほしいです。

### 助言

加工品を食べる場所、販売する場所は、平成30年度より岩見沢のグルメガイドに載っています。また、学校給食で岩見沢のお米などを召し上がっている皆さんにはぜひ、PRしていただけたらと思います。

### 提案

除排雪について、除雪と排雪を同時に行うことや雪捨て場には学校のグラウンド等を利用して効率よくしてほしいです。

### 助言

除排雪については毎年多額の予算がかかっています。除雪と排雪を一緒に行うこともっとかかってしまいます。

### 提案

駅前商店街の空き店舗を利用して、カフェなど若者向けのお店をつくってほしいです。

### 助言

若者向けの店舗を建てるという事は既存のお店に影響を与えるため、行政が建てることはできません。しかし、そういった声が多くあり、商店主が空き店舗などで開業するようになった場合は費用を一部助成するシステムがあります。

# 市民との意見交換会を開催いたしました。

昨年11月21日、市内4会場（生涯学習センターいわなび、北村環境改善センター、栗沢文化センター、幌向総合コミュニティセンター ほっとかん）にて市民との意見交換会を開催いたしました。その際の皆様からのご意見・ご要望の一部を掲載いたします。

また、このほかに承ったご意見・ご要望につきましては、市議会のホームページに記載いたしましたので、ぜひご覧ください。

**Q** いわなび  
空き店舗において、商業集積を目指した再利用活用をしようか。

**A**  
市内の空き店舗については行政もその地域や出店する業種によって補助金を出しています。

また、開業の相談窓口の創設や、年に2回、創業塾というものを開催しており、開始した平成28年4月から平成30年10月までに37の店舗ができております。

**Q** 北村  
ふるさと納税について、岩見沢市でもらう額と岩見沢市で控除を受ける額がわかれば教えてください。

**A**  
平成29年度のふるさと応援寄附実績につきましては、1万7876件、4億4347万円となっております。返礼品にかかる費用につきましては、返礼品の代金のほか、送料とクレジット決済手数料、業務委託料等を合わせて、2億7772万円を支出しており、寄附額から費用を除いた実質的な

収入は1億6575万円となっております。

また、岩見沢市民の他都市への寄附額は、1303件で6614万円であり、これに対する市民税の減収2959万円を実質的な収入から差し引くと、1億3616万円と試算しているとのこと。

**Q** 栗沢  
霊園について、栗沢で平成3年に墓地を買いました。契約して3年以内にお墓を建てる決ま

りになっていたはずですが、隣の区画は27年たった今もいまだに建っておらず、空き地になっています。

**A**  
合併前の旧栗沢町の条例では、「使用者が使用許可を受けた日から3年を経過しても使用しないときは、使用許可を取り消すことができる。」と規定されておりましたが、一部にお墓の建立がないことは承知していたものの、永代使用料を納めている使用者を個々の事情がある中で一律に使用許可を取り消しにするのは難しく、実際には行っていないとのこと。

**Q** 幌向  
幌向第3号線踏切改修について、平成29年は給食センター前の踏切が完成次第順番のはずでしたが、その後返答がありません。3号線は小中学校の指定の通学路であるにもかかわらず危険であるため、早急にその件に力を注いでほしいです。

**A**  
地域要望は道路管理者である北海道に伝達されており、現在、北海道とJR北海道で協議が進められておりますが、現時点では具体的なスケジュール等は示されておりません。

地域要望を踏まえ、早急な実施に向けて引き続き働きかけを行ってまいります。



## 編集後記

広報広聴委員会委員 大和 勝

市民との意見交換会では多くの皆様にご参加いただき、ありがとうございました。4カ所合計で56名、多いところでは30名の市民の皆様にご参加いただくことができました。議会として、これからも議会と市民がつながることのできる環境整備をまいります。

2月もしくは3月の第1回定例会が統一地方選挙前の最後の議会となります。平成31年度の市政の方針・予算がありますので、しっかりと議論してまいります。

〔委員長〕 酒井和子      〔副委員長〕 檜館竜哉  
〔委員〕 伊澤幸信      太田博之      豊岡義博      大和 勝  
   山田靖廣      池島和行

## 傍聴

本会議、委員会は当日に簡単な手続きを行うことで傍聴できます。いずれの会議も市役所本庁舎3階で行われています。

## ホームページ

議員名簿、議会の概要、本会議、委員会などの会議のお知らせ、過去の会議の結果（会議録）などを掲載しています。



市議会の詳しい情報は、岩見沢市議会のホームページをご覧ください。  
(上記QRコードからもご覧になれます。)

岩見沢市議会